

私たちの施設は、「福祉サービス第三者評価」を活用して、利用者サービス向上のために常に努力しています。

「福祉サービス第三者評価」を踏まえたサービス改善計画・実施状況

事業所名		こぶし事業所			第三者評価受審年度	令和4年度
項目	評価結果に基づく現状分析 (令和4年度)	改善計画 (令和4年度末時点)	実施状況 (令和4年度末時点)	実施状況 (令和4年度末時点)		
ヒヤリハット報告を活用し、事故防止対策を充実する について	事故報告を中心に、事故防止対策を主任会議で論議していたためにヒヤリハット報告の活用があまりなかった。	ヒヤリハット報告書を活用するように、職場報告についても主任会議で論議した。 ヒヤリハット報告書を各職場に配布して、小さな気づきでも、全体のものにして、事故防止に役立てるように意思統一をした。				
広報活動を積極的に行うことで、さらなる事業所の情報提供を広げる について	現在は「障害者事業所の概要」とNPO法人に配布している「会員通信」での広報活動になっている。 不特定多数にを対象にした、読みやすいPR紙の活用が求められている。	各事業所のパンフレットを集めている。「こぶし事業所」としての有効な広報活動をの検討を始めた。1年以内に新しいパンフレットを作成し、有効な広報活動をみんなで論議して見つけていく。				
マニュアルを集約・整備して業務の効率化と仕事の手順を明確にしていく について	仕事のマニュアルや手順は、職場ごとになっており、職場を異動した時には使えない現状。	職場ごとに仕事のマニュアルと手順を整備する。 整備が終わった段階で共通の仕事はできるだけマニュアルを統一するように作成したい。				

※この様式は、「練馬区障害者日中活動系サービス推進事業運営費補助金交付要綱」等の規定に基づき、利用者の皆様にお知らせするためのものです。

※「項目」は、第三者評価における「さらなる改善が望まれる点」などを参照に、施設が独自に決めています。

※第三者評価の結果は、施設において公表しています。